

町小だより

令和6年
5月28日
No. 686
御免町小学校

みんなが主役 みんなでつながる

校長 相澤 祐助

御免町小学校では先週5月18日（土）に、雲一つない快晴のもと、運動会が盛大に開催されました。前日までの雨や嵐がうそのように無くなったのです。1年生から6年生まで、心が一つに**つながり**、まさに**全員が主役**となる、スローガンどおりの素晴らしい運動会でした。

開会式と閉会式ですが、練習は2時間だけです。5月15日の2時間目と3時間目だけなのです。そこで生じた不具合を職員で話し合い、各学級、各学年に落とし込み、本番を迎えています。「本番は慌てなくていい」「6年生のリーダーが動きや指示を出すこと、自分たちで考えて動くこと」これだけであのような素晴らしい開閉会式になったのです。話をする人の方を向く、話す児童は原稿を見ずに、考えたことをその場で話をする。暑い中でしたが、**全員がつながっていた**からこそできたのです。

1年生と6年生はチェッコリ玉入れで**心がつながる**ことができました。手をつないでの入場に見ている人がほっこり笑顔になりました。また、一緒に踊る姿、玉入れをする1年生を応援する6年生に癒されました。2年生と3年生はダンス（アイドル）で**動きがつながり**ました。3年生は、2年生にダンスを教えるという役割がありました。朝学習、昼休みと時間を惜しみなく使い、完璧にダンスを伝えることができました。見事なパフォーマンスでした。4年生と5年生は棒引きで**アイデアと力がつながり**ました。久しぶりの力量感のある種目となりました。作戦とチームワークと体力が試される場面でした。5年生のリーダーシップが発揮されました。6年生はクラス対抗全員リレーで**バトンをつなぎました**。走ることが得意な子も、苦手な子も、みんながリレー選手でした。**まさに主役**となって走ったのです。バトンがつながらないことにはリレーは成り立ちません。この全員リレーは6年生の児童の多くがやりたいと言った種目です。それだけ、6年生はこの運動会に熱い思いをもっていたのです。そして、6年生の応援団は見事に**応援で全校をつないで**くれました。

町小の運動会は本当に素晴らしい、つながりのある、見ごたえのある運動会でした。残念ながら、怪我などで競技には参加できない児童もいましたが、本部テントや児童テントから応援する姿を見て、私は目から涙があふれてきました。

運動会前日、そして当日と、テント設営や会場の片づけに力を貸してくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。また、朝早くから子どもたちの姿に温かな応援と見守りをくださった保護者の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました。子どもたちと地域・保護者が一つに**つながった**貴重な時間となりました。心より感謝申し上げます。テント内の来賓の方からは、「放送の子も、壇の上で発表する子も、それを聞く子どもたちも、みんな素晴らしいねえ」という声をいただきました。